

# 医事課にお邪魔

第140回



社会福祉法人聖隷福祉事業団 **聖隷佐倉市民病院** (千葉県佐倉市)

診療科: 34科

病床数: 304床

ホームページ <http://www.seirei.or.jp/sakura/index.html>

▼腎不全対策のため設けられた国立病院として始まり、早くから腎移植にも取り組んできた。2004年に聖隷福祉事業団へ経営移譲され、同年10月の腎センター新設により腎臓病治療体制がさらに強化された。専門外来での細やかな指導による透析への進行予防、また必要な患者への安全かつ予後の良い透析を実施する。一方、脊椎疾患の専門医がそろった“せぼねセンター”も2006年に新設。難易度の高い手術にも対応している。▼公式ブログ「さくら茶」は、院内の雰囲気や職員の素顔を伝える病院の魅力が満載だ。▼現在建設中の新棟(病棟)は、2019年8月に完成予定。(取材: 大倉真登佳)

医療事務を担う部門は“医療情報管理課”との名称で、94名が所属している。うち、役職者は課長1名、課長補佐1名、係長4名。

## 外来医事(委託28名)

- ・受付(総合受付)
- ・電話対応(予約対応・診療案内)
- ・スキャンセンター(紹介状等の電子カルテへの取込み。現物は3カ月間保管)
- ・カルテ庫(医師の要望により、紙カルテと併用のため、カルテ搬送を行う)
- ・外来会計(レセプト作成~点検)

## 外来係(常勤12名)(うち係長1)

- ・書類受付
- ・生保・労災・自賠責関係
- ・受付(予約受付・会計ファイル受付)
- ・予約管理

## 書類係(常勤2名)

- ・書類作成の代行(医師事務作業補助者)

## 入院医事(常勤4名, 委託6名)

- ・入院受付
- ・入院会計(レセプト作成~点検, 医療費の概算 など)

## 診療録管理室(常勤5名)(うち係長1)

- ・様式1の作成
- ・電子カルテ内の精査
- ・がん登録, NCD(National Clinical Database)登録

## 病棟クラーク(常勤10名)(うち係長1)

- ・病棟内の事務全般
- ・電話, 患者・家族対応

## 透析クラーク(2名)

- ・透析室内の事務全般
- ・電話, 患者対応

## 外来クラーク(22名)(うち係長1)

- ・外来診察室での事務補助, 代行入力(医師事務作業補助者)

## 学術支援(常勤1名)

- ・サマリーの代行作成
- ・学会, 研究のためのデータ入力

外来クラーク部門に所属する医師事務作業補助者は、大きく内科・外科・整形外科チームと3つに分かれ、それぞれのリーダーが職員の経験に応じて担当を割り振っている。外来診療の現場では、看護師と連携を取り合うことを大事にしている。診療中の代行入力が行っていないが、1階の計測コーナーで患者自身が測定した血圧、体温などのバイタル数値、体重の入力は診察が始まる前に医師事務が行っている。

外来の保険請求業務は完全に委託しているが、約10年前、同じように業務委託していた入院の保険請求業務を同院の職員も担うことになった。「当初は入院算定の知識のある者が1人もおらず、委託職員に教わりながら請求を行いました」(石井まゆ美課長)という。

2018年7月から電子カルテを導入した。「手書きの頃よりも見やすく、また全体的に記載量が増えたので、細かいところまで患者情報を把握できるようになりました」(入院算定担当・則松さん)。

時短勤務制度があり、同課の女性職員も多く利用している。0歳から就学前まで預けられる院内保育所があり、職種関係なく利用ができるため、ここ最近、出産による退職はないそう。



▲外来診察室が並ぶ待合室

2016年の診療報酬改定以降、10対1入院基本料への移行が条件となった経過措置「7対1と10対1を混在させる病棟群単位での届出」をしてきた。2018年改定により急性期一般の「2」「3」が設けられたため、「2」の取得を目指し、2018年2月頃から幹部会議でアナウンスを開始し、看護必要度Ⅱの要件を満たすため看護部などの協力を得て、9月に届出の実現に至った。

月1回、「外来フロア会議」を開催している。副院長ら医師、看護師、技師、事務(医事課長、外来係係長)など外来診療に関わる職員が多く参加して、待ち時間対策(同院では、診察は除き、そのほかの問診、保険証確認、検査、会計などで20分以上待たせないことを目標としている)や外来部門で起こった問題等について話し合う。

例えば、「救急入口付近や、検査科から放射線科に向かう途中で迷っている患者さんをよく見かける」との声が出たときには、出席メンバーで院内を実際に歩き、案内表示の見にくさが原因だと洗い出し、改善につなげた。



▲受付



◀2019年の元旦は、入院食に色鮮やかな折詰を用意した。そのほか、毎年10月に聖隷グループ内で行われている聖隷栄養部門

の料理対決で最優秀賞を獲得した博多蒸し（鶏肉、白菜を重ねたもの）、なます、お煮しめ、昆布巻きなどを提供した。



▲クラークの制服を一新し、ワンピースとパンツの2種類から選べるようにした。ワンピースは淡いオレンジ色が明るく、職員からも患者からも好評。



▲健診センターには、リラックスマールームがあり、患者が検査の待ち時間を気持ちよく過ごせるように、大きめのリクライニングタイプの椅子（8台）を用意している。



▲病院をあげて「笑顔で健康に!」という“笑顔プロジェクト”が始まった際に、作ったマーク。



### ブログ「さくら茶」

病院の公式ブログ「さくら茶」は定期更新され、毎月約10本の記事が掲載されている。患者向けイベント報告だけでなく、職員の研修や表彰、院内の様々な部署の取組み紹介、新棟建設の経過なども積極的に取り上げ、写真とともに見やすい工夫がなされている。

### 患者図書室（営業時間：平日9:00～16:00）

外来の診察室がまとまっているA号館1階には、患者向けの図書室があり、インターネット接続のPCも置いてある。室内には大きなモニターがあり、全科の診察番号が案内順に表示されるので、読書を楽しみながら待ち時間を過ごせる。



### レディースデー・マンモサンデー

女性限定の休日イベント“レディースデー”と“マンモサンデー”を実施している。更年期障害や月経などの悩みに答える助産師相談、ヨガやアロマセラピーなどの無料体験、子宮がん検診や乳がん検診（予約制）——など。2018年度は計6回実施し、226名の参加があった。

### オンライン HDF

透析センターでは、全ベッドでオンライン HDF（血液濾過透析）（より多くの老廃物を取り除ける透析の方法）の実施が可能だ。通常の血液透析よりも水質管理を厳重に行う必要があるが、心臓への負担が少ないなど患者にとってのメリットが多く、採用している。

### 短期職場留学制度

2013年より、院内の他部門の業務体験を奨励する短期職場留学制度を設けた。例えば、2018年度の事務部職員の留学先は、診療部4名、医療技術部12名、健診センター3名、訪問看護2名など。乳腺外科の手術見学を行った外来クラークは「診察介助だけでは気づけなかった入院してからの治療経過や患者さんの想いに今まで以上に寄り添えるようになりました」と話す。

### 秋のお茶会

毎秋、佐倉城下町裏千家茶道会の方々の協力を得てお茶会を開催し、丁寧な指導のもと自分でお茶をたて、お茶菓子とともに味わっていただく機会を設けている。多くの方に気軽に参加

してもらえるように、テーブルと椅子を使用する形式をとっている。また、合間に箏の演奏会も実施している。



### 【聖隷佐倉市民病院 DATA】

（2018年12月）

- ◆開設：2004年3月
- ◆病床稼働率：87.0%
- ◆平均在院日数：15.4日
- ◆紹介率：56.8%
- ◆外来患者数：873.4人  
レセプト数：10,726件/月
- ◆入院患者数：264.6人  
レセプト数：776件/日

### 取材先募集

「医事課にお邪魔」にご登場いただける医療機関を募集しております。連絡先は下記へお願いします。  
電話 03-3512-0253（佐伯）  
e-mail it@igakutushin.co.jp

### 職員エピソード1



則松和宏さん  
入院算定担当

当院医療情報管理課歴  
5年目

昨年の院内学会では、転棟のタイミングをテーマに発表を行いました。一般病棟から地域包括ケア病棟への転棟のタイミングを医師・看護師の臨床的視点と医事的視点を調整することで、より高い診療報酬を算定できるのではないか。そのための指標を作れないか——との思いから検証したものです。

医師には回復期に移れる状態かという指標のチェック、看護師にはベッドコントロール面でのアドバイスをいただき、実際に運用した2疾患の検証結果を紹介しました。1疾患は、現在も運用されています。

趣味は、テニスとゴルフです！

### 職員エピソード2



鳥羽沙也加さん  
外来受付担当

当院医療情報管理課歴  
9年目

予約管理業務では、電子カルテの医師の記事（患者の予約に関する要望や診察内容など）を読むこと、患者自身からの要望を聞き取るなど、まず状況を把握することが大切です。そのうえで、希望に沿う日時や医師を判断し、適切な予約がとれるように調整します。

趣味は、スキューバダイビング。千葉の海によく行きますが、太陽の差し込み具合によっては、海が真っ青で砂地が白く浮かび上がり、海外の海の中ではないかと錯覚するほどきれいな光景がみられます。また、魚の群群に入っていくと、貴重な体験ができます。

病院実習で職場の雰囲気の良さを実感し、当院に入職！

